

第16回全国障害者スポーツ大会 中国・四国ブロック予選会

No. A6

競技日	平成 28 年 5 月 29 日 (日)	会場	高松市総合体育館
開始時間	13 時 30 分 開始	競技種別	男子 決勝戦
審判名	主審 取口 享史 副審 津門 正人		

高知県	63	{	<table border="0"> <tr><td>13</td><td>14</td></tr> <tr><td>16</td><td>14</td></tr> <tr><td>16</td><td>10</td></tr> <tr><td>18</td><td>19</td></tr> </table>	13	14	16	14	16	10	18	19	}	57	岡山県
13	14													
16	14													
16	10													
18	19													

チーム名		高知県					
No.	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	小松 幸人	6	0	6	0	0	
5	奥田 直也	28	0	26	2	1	
6	池 修平	8	0	8	0	4	
7	市川奈美男	11	0	8	3	0	
8	西 三顕						
9	吉田 友也	8	0	8	0	4	
10	一圓 俊映						
11	門田祐治郎	2	0	2	0	1	
12	田村 昌生						
13	中嶋 一貴						
14	山本 隼人						
15	大島 響						
	澤田 直柔						
	岡林 浩祐						
		63		58	5	10	

チーム名		岡山県					
No.	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	青木 竜雄	9	3	6	0	3	
5	川上 和雪	15		14	1	1	
6	木下 勝利	11		10	1	0	
7	井上 瞭一	8		8	0	4	
8	入江 裕太	2		2	0	0	
9	藤澤 陽治	4		4	0	2	
10	木下 裕太						
11	幡 大輔						
12	本坂 涼太	8		8		1	
	楽前 正道						
	益田 剛志						
		57		52	2	11	

【戦評】

高知、岡山共にゾーンディフェンスでスタート。高知4のパスカットからの速攻で先制。岡山4の3Pで応戦。岡山は高さを活かしてリバウンドを支配。高知はパスワークの上手さでゾーンを崩す。両チームとも譲らず1Q終了14-13岡山リード。2Qも岡山はゾーン高知はマンツーマンに切り替えてスタート。お互いにアウトサイドが思うように入らない。お互いにインサイドで加点していく展開。両チーム共に中盤から速攻が出始めて加点していく。2Q終了間際高知が逆転。29-28で高知リードで2Q終了。3Qはデフェンスは2Qと同じスタート。高知5のインサイドプレイで加点していく。高知が着実に加点していき高知7点リードで3Q終了。4Q、立ち上がりから岡山のミスが続く。高知は速攻で加点。しかし岡山も速攻で応戦。残り2分で同点に追いつく。しかし最後は高知が引き離し63-57で高知の勝利。見ごたえのある決勝戦であった。

競技日	平成28年5月29日	競技種別	高松市総合体育館
開始時間	12時00分開始	競技種別	女子 決勝戦
審判名	主審 近井 英俊 副審 桃山 浩太		

岡山県	41	12	10	44	山口県
		12	2		
		12	17		
		5	15		

チーム名 岡山県							チーム名 山口県						
No.	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	No.	選手名	得点	3P	2P	FT	反則
4	木下 秀美	18	3	14	1	1	4	高橋 明菜	10	3	6	1	1
6	木下 正恵	1	0	0	1	4	5	若松 香	2	0	2	0	5
7	幡 未希	11	0	10	1	0	6	山本 未来					
8	竹内 千夏						7	中岡 舞	12	0	12	0	2
9	坂本菜奈美	8	0	8	0	0	8	齋藤 愛	8	3	4	1	1
10	橋本 由美	3	0	2	1	2	9	神田 歩美	10	0	10	0	3
							10	岡村 瑞穂					
							11	水津 愛友	2	0	2	0	1
							12	松本 愛梨					
							13	秋吉のぞみ					
							14	福田 良子	0	0	0	0	1
							15	原田 美咲					
	山本 健五							喜志永尚則					
	床 真一郎							鈴木登美子					
		41	3	34	4	7			44	6	36	2	14

決勝戦は、中国ブロック代表の岡山と山口の対戦となった。

第1Q、両チームゾーンディフェンスで始まる。岡山は#4の3P、#10の速攻などで得点。対して山口は#9#7の外角シュートで得点。両チーム譲らず12対10で終わる。

第2Q、お互いディフェンスはゾーンディフェンスで始まるが、岡山は#4のバスケットカウント、#7、リバウンドからの得点で流れに乗る。対する山口は#4、#8の思いきりのいい攻めでなんとか得点しようとするが、うまくいかず24対12のダブルスコアで前半を終了。

第3Q残り2分から、山口#8のバスケットカウント、#4の3P、#7のリバウンドシュートが決まり、36対29と点差を縮める。

第4Q、勢いに乗る山口は開始早々3分で#9の速攻、#7の外角シュートで1点差、残り5分で#4の3P、#7のシュートが決まり37対36と遂に逆点。岡山はオールコートプレッシャーディフェンスに変えて、何とか流れを変えようとするが、山口が逃げ切って。44対41で山口が勝利した。

1点差を争う決勝戦にふさわしい素晴らしいゲームだった。

記載者 小村 城